

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛驒特別支援学校高山日赤分校

学校番号	119B
------	------

自己評価

学校教育目標	主体的に生きる力を育てる ～気づく、考える、動く～
--------	---------------------------

評価する領域・分野	地域との連携
現状及びアンケートの結果分析等	<p>車椅子を利用している児童生徒の2階からの階段避難が安全に迅速に行えるよう、昨年度より地域のまちづくり協議会の方に訓練に参加していただいている。また、地域の防災士から訓練内容について助言をいただき、様々な想定での訓練を実施できていることで、アンケート結果では、地域と連携した防災教育に肯定的な評価をいただいている。今年度は、主任児童委員等、各地域を拠点に活動している方の学校見学会等を実施したり、学校周辺地域の行事にPTA活動として参加したりする中で、児童生徒や教育活動の理解啓発に努めている。今後も児童生徒、保護者と地域がつながる活動に取り組んでいけるとよい。</p>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺地域の方や防災士と連携し、防災体制の確認や訓練を行う。 ・学校周辺地域の行事等への参加を通して、児童生徒や教育活動についての理解啓発を図る。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職、保健安全部で地域の方との連絡調整を図り、保健安全部を中心とした災害時対応の確認や訓練を実施する。 ・渉外部が協力し、PTA主催の防災研修会を実施する。 ・渉外部中心に、地域のイベント紹介やPTAとの連絡調整を図る。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の方に火災想定（階段避難）の命を守る訓練に参加していただき、非常時の地域の方の動きについて検討する。 ・地域の防災士に命を守る訓練を見学していただき、避難体制や職員の動き等への助言を得る。 ・第二避難所として協力を得ている近隣の施設までの移動避難を実施する。 ・防災士を講師に招き地域における防災についてPTA主催の研修会を行う。 ・各地域の主任児童委員による学校見学会を実施する。 ・まちづくり協議会主催の芸能発表会にPTA活動として参加する。 ・地域の方と触れ合う機会を設定する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した訓練により、安全な避難体制を確認することができたか。 ・地域と連携した行事参加等により、児童生徒や教育活動についての理解啓発はできたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に実際に訓練に参加いただいたことで、物品移動、点呼補助等、地域の方ができる動きを確認でき、名簿のフリガナの必要性や持ち出し物品の置き場所の検討等、具体的に検討することができた。 ・近隣の施設の協力を得て、実際に第二避難所まで、車椅子で移動できた。 ・防災士による改善点等の指導により、様々な想定での訓練ができた。 ・PTA防災研修会で市内の防災体制について学び、居住地域の防災体制について意見交流を行った。出た意見をまとめて市の福祉課に提出した。 ・主任児童委員の方に向け、学校説明動画の視聴や授業参観等実施でき、多くの質問や感想が得られた。児童館だよりを掲示するようにした。 ・地域の芸能発表会では、まちづくり協議会との打ち合わせにより、校区の小学校と一緒にボッチャのデモンストレーションを行うことができた。

	・地域の関係機関からの紹介で、地域の書道家との交流会を行った。
評価の視点	評価
① 地域と連携した防災体制を検討することができたか。	Ⓐ B C D
② 保護者と共に防災について情報共有することができたか。	A Ⓑ C D
③ 学校周辺地域の行事や体験的な活動の情報を関係機関と連携して収集し、児童生徒や保護者に提供できたか。	A Ⓑ C D
成果・課題	総合評価
<p>○地域の方と連携した命を守る訓練を継続できている。具体的な支援体制を確認でき、参考となる助言を得ることができた。</p> <p>○PTAの防災研修で出た意見を市の福祉課に提出することができた。</p> <p>○地域行事への参加の仕方についてまちづくり協議会と話し合い、発表順を変え、校区の小学校と協力したことで、多くの方に発表を見ていただくことができた。</p> <p>▲学校においては地域と連携した防災体制ができてきたが、保護者の不安感は居住地域での防災体制にある。保護者にも学校の訓練を見学していただき、防災について一緒に考えていけるとよい。</p> <p>▲児童生徒が地域に出て活動する機会を増やし、児童生徒を知ってもらうことで、地域との連携につながれるとよい。</p>	A Ⓑ C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況を想定しながら防災訓練を継続実施し、地域の方との協力体制を構築していく。 ・命を守る訓練を保護者に見学していただいたり、PTA活動として防災についての研修を継続したりして、必要な情報を保護者や市町の行政と情報共有する。 ・地域での体験的な活動や人と触れ合う機会を広げる。(校外学習、MSリーダーズ活動、写真展等の広報活動、中・高等部のキャリアアップの活動等)

学校関係者評価 (令和6年12月16日実施)

意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化祭への参加に感謝している。より多くの観客に発表を見てもらえるよう、出演の方法等工夫したい。 ・まちづくり協議会主催の芸能発表会では、地域の人に学校のことを知ってもらう機会になるので、今後も続けて参加してもらえるとよい。 ・社会福祉協議会では、地域の居場所づくりに取り組んでいる。お互いが支え、支え合える存在として、卒業後も生徒が地域で役割を担う立場になることもあると考えている。 ・地域防災、要介護者の避難について検討している。保護者の意見を聞かせてもらい、支援に結び付けていきたい。 ・まちづくり協議会との協力がよい。一人一人が輝いて尊重される存在であることを伝えるためにも、活動する場を広げる工夫をしてほしい。